

⑧松林地区

ア 地域別配置状況

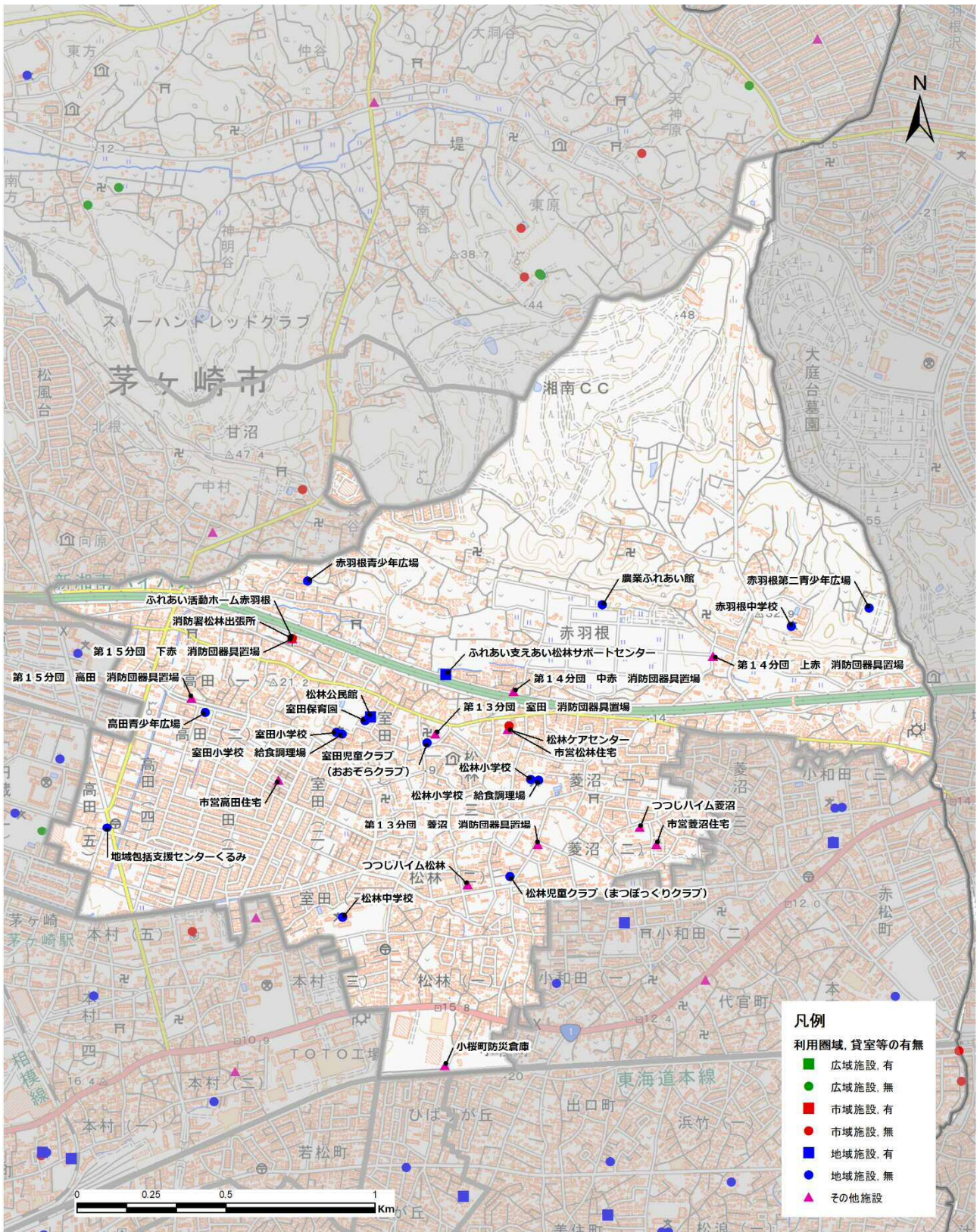


図 6-99 松林地区の地域別配置状況

イ 施設基本情報

表 6-100 松林地区の施設基本情報

施設名称	施設大分類	利用 圏域	延床 面積	建築 年度	貸室構成				
					利用率	和室	会議室	多目的室	研修室
消防署松林出張所	行政系施設	その他施設	423	H4					
第13分団 菱沼 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	60	H14					
第13分団 室田 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	60	H26					
第14分団 上赤 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	50	S61					
第14分団 中赤 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	60	H24					
第15分団 下赤 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	50	S62					
第15分団 高田 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	54	H11					
小桜町防災倉庫	行政系施設	その他施設	198	H24					
室田保育園	福祉施設	地域施設	471	S57					
松林児童クラブ(まっぼっくりクラブ)	福祉施設	地域施設	116	不明					
室田児童クラブ(おおぞらクラブ)	福祉施設	地域施設	103	不明					
ふれあい活動ホーム赤羽根	福祉施設	市域施設	542	H4					
松林ケアセンター	福祉施設	市域施設	715	H9					
ふれあい支えあい松林サポートセンター	福祉施設	地域施設	51	不明					
地域包括支援センターくるみ	福祉施設	地域施設	57	不明					
松林小学校	学校教育系施設	地域施設	7,166	S43					
室田小学校	学校教育系施設	地域施設	7,347	S53					
松林中学校	学校教育系施設	地域施設	6,721	S52					
赤羽根中学校	学校教育系施設	地域施設	7,570	S60					
松林小学校給食調理場	学校教育系施設	地域施設	379	S58					
室田小学校給食調理場	学校教育系施設	地域施設	210	S53					
松林公民館	社会教育系施設	地域施設	836	S57	72.1%	1	2		1
赤羽根青少年広場	社会教育系施設	地域施設	-	-					
高田青少年広場	社会教育系施設	地域施設	-	-					
赤羽根第二青少年広場	社会教育系施設	地域施設	-	-					
市営高田住宅	市営住宅	その他施設	5,694	S42					
市営菱沼住宅	市営住宅	その他施設	1,772	S45					
市営松林住宅	市営住宅	その他施設	1,050	H10					
つつじハイム菱沼	市営住宅	その他施設	1,292	H16					
つつじハイム松林	市営住宅	その他施設	750	H18					
農業ふれあい館	その他	地域施設	112	H19					

※利用率については、新型コロナウイルスの影響で令和2年度は利用状況が他年度と大きく異なることから平成29～令和元年度データの平均値を採用しています。

※上記「貸室構成」の諸室については、施設の再配置検討の参考とするため、ホール、体育館、調理室及び図工室等の特殊な設備等のある諸室を除く貸室を対象としています。

ウ 現状と課題

視点	現状と課題
ストック	<ul style="list-style-type: none"> 松林地区は本市で1番人口の多い(令和2年度実績)地区です。 令和2年度～令和37年度までの人口推計によると、令和7年度をピークに令和37年度までに6.7%の人口減少が見込まれています。 年少人口の減少率が他の地区に比べて高く、令和37年度までに22.8%の人口減少が見込まれています。 「ちがさき都市マスタープラン」上では北東部地域に区分されており、JR東海道本線茅ヶ崎駅の北東側、市のほぼ中央に位置し、東側は藤沢市と隣接し、地区内を

	<p>新湘南バイパスが東西に通過する地区で、その南側は住宅地となっており、公共施設が集中しています。本市が管理・運営する施設の9.3% (43,908 m²)、31施設が立地しています。地区内には鉄道駅などの人の多く集まる拠点がなく、公共施設は住宅地や幹線道路沿いに点在しており、その多くが地域住民の利用を前提とした地域施設です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本地区の建物で築30年以上経過している施設は78.9% (34,664 m²) で、市域全体(61.8%)と比較すると、老朽化の進んだ施設が多く配置されています。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> • 貸室機能を持った施設は1施設あり、平均貸室利用率は72.1%となっています。 • 地域住民の利用を前提とした地域施設は16施設であり、地区内に配置された公共施設の70.9% (31,139 m²) となっています。

エ 今後の方針

視点	現状と課題
ストック	<ul style="list-style-type: none"> • 小中学校が多いことから、地区内の今後の人口動向や施設の配置、老朽化及び利用状況などを勘案し、施設の有効利用や統廃合、複合化などの検討を進めます。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> • 本市の北東部地域に位置する地区であり、子育て世代を含む若い年齢層の割合も多い地域であることから、子育て・保育等の福祉施設や地域集会施設など、多様な世代に配慮した機能を集約し、引き続き、地域住民へのサービス維持・向上を目指します。 • 藤沢市に隣接する地域であることから、藤沢市との連携やサービス・機能の広域化、施設の相互利用などの可能性を検討します。